

地域社会貢献を誓う

バローグループ 20社595人が入社式

バローグループは1日、多治見市十九田町のバロー文化ホールで入社式を開いた。グループ20社の595人が社会人としての一歩を踏み出した。

バローホールディングスの小池孝幸社長は「まずは与えられた仕事をやってみよう。苦勞が成長につながる」と訓示。田代正美会長兼CEOは、福島県会津若松市の会津藩校日新館の教育方針を引き合いに、「1年2年ではできないが、これだけは守っていかう、というのをしっかり持つてほしい」と呼びかけた。グループ各社の社長が新入社員代表に辞令を交付した。

全新入社員を代表し、中部薬品の大橋幸輝さん(24)が「バローグループの発展と地域社会に貢献できますよう全力を尽くしていく」と誓いの言葉を読み上げた。(松浦健司)



595人が入社したバローグループの入社式。多治見市十九田町、バロー文化ホール